

あそぶ、まなぶ、いきる。

山と溪谷社

An impress Group Company

各 位

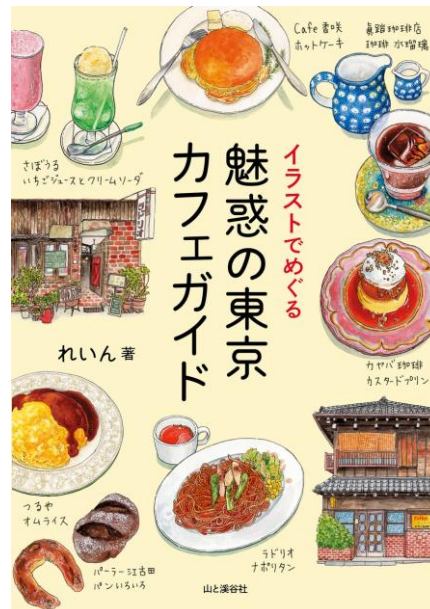
2026年4月8日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

カフェ愛強めのイラストレーター・れいんさんがナビゲートする『イラストでめぐる 魅惑の東京カフェガイド』が4/8に発売されます！ パン屋カフェ、古民家カフェなど32軒を紹介。

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『イラストでめぐる 魅惑の東京カフェガイド』（れいん・著）を発売しました。



一歩足を踏み入れれば、心地よさに包まれる癒やしのお店を、カフェ好きイラストレーター・れいんさんがコツコツ取材をして、ていねいに書き下ろしました。パンやチーズの焼き色や、アンティーク洋食器の絵柄、パスタの麺1本1本など、細かな描き込みまで楽しいイラストガイドブックを持って、東京のカフェめぐりに出かけましょう。

パンがおいしいベーカリーカフェ、くつろげる古民家カフェ、一見の価値がある名建築カフェ、本とコーヒーを楽しめるブックカフェ、眺めの素晴らしいカフェ、ノスタルジックな昭和レトロカフェ。

個性的な東京カフェ 32軒を、写真よりもおいしそうなイラストで緻密に描き上げるイラストレーター・れいんさんがナビゲート。ページをめくるごとに、おいしそうなカフェメニューにごくりと喉がなり「ここ、行ってみたい！」という衝動に駆られるに違いありません。

巻頭ページに大まかなカフェのロケーションがわかる全体MAPを、巻末に路線別のお店索引を付けたので、行きやすいエリアのカフェからどんどん足を運んでください。



◎Chapter1 パンが主役のベーカリーカフェ

GARDEN HOUSE CRAFTS (代官山) / ペリカンカフェ (田原町) / パーラー江古田 (新桜台・江古田) / カタネカフェ (代々木上原) / コンビニエンスストア高橋 (練馬春日町)

**GARDEN HOUSE CRAFTS**

**こだわりのカンパニーを味わう、代官山ベーカリー**

鎌倉のレストラン GARDEN HOUSE のベーカリー兼店として2015年にオープンした、GARDEN HOUSE CRAFTS。看板商品のカンパニーは、風味の異なる4種の国産小麦をブレンドし、サンフランシスコのベーカリーから受け継いだ自家製酵母で一晩発酵させたもの。カフェではそのカンパニーを始めとしたパンのおいしさを伝えるための料理を提供しています。

ます。ノーザンカルフォルニア料理の考えを取り入れた「Season inspired (旬)」「Eat local (地元産の食材)」「Fine crafts (手作り)」が GARDEN HOUSE のコンセプトで、ベーカリーでも、その土地の旬の食材を使った手作りの料理を楽しむことができます。パンの種類も豊富で、次に訪れたときは人気の塩バターメロンパンなど、ほかのパンも食べてみたい。

線路跡地に造られた「ログロード代官山」は、コテージ風の木の建物と緑で統一されていて、公園のようなくつろげる雰囲気。GARDEN HOUSE CRAFTS はその一番奥にあり、テラス席もある開放的な空間で、できたてのパンや旬の食材を使ったデリカッセンを楽しめる。

10

常時30種類ほどのパンが並ぶ。レストランが母体の基店なので、食材がたっぷりだった料理。ほっといもが、本物の奥の工房でパンを焼いている様子が見える。

◎Chapter2 心落ち着く古民家カフェ

カヤバ珈琲 (日暮里・根津) / 縁側カフェ (竹ノ塚) / TENEMENT (広尾) / 松庵文庫 (西荻窪) / 藤香想 (要町) / 木花日和 (永福町)

# カヤバ<sup>o</sup>珈琲

たまごサンド 焼きたての卵焼きがとろとろ!! 中は外はカリッと中はふわふわもちもち。食感の違いが楽しめるサンドイッチ。卵焼きは塩と(よご)つけていて、甘い。望みもあるマヨネーズは、デビルとはちみつ入りで爽やか。創業から受け継いでいる人気メニュー。



## 谷中に息づくレトロな古民家で珈琲を味わう

昔の町並みが残る谷中の一角に立つ、カヤバ珈琲。1916年(推定)創建の木造2階建ての町家は、ミルクホール、かき氷、あんみつ店などを経て、1938年にカヤバ珈琲店となりました。2006年に一度閉店しますが、地域内外の支援を得て復活。地元NPO法人のサポートを受けながら営業を続けています。「当時の面影や古くから愛されているメニューを大事に残し、より長く営業を続けたい」と代表の宗島さん。昔ながらの趣を残した居心地のよい空間は、ご近所の常連さんから海外からの観光客まで、幅広いお客さんの憩いの場になっています。これまで1階しか利用しなかったが、初めて2階を覗いてみて、今度はよりゆとりとした時を感じられそうな2階におじゃましようと思いました。



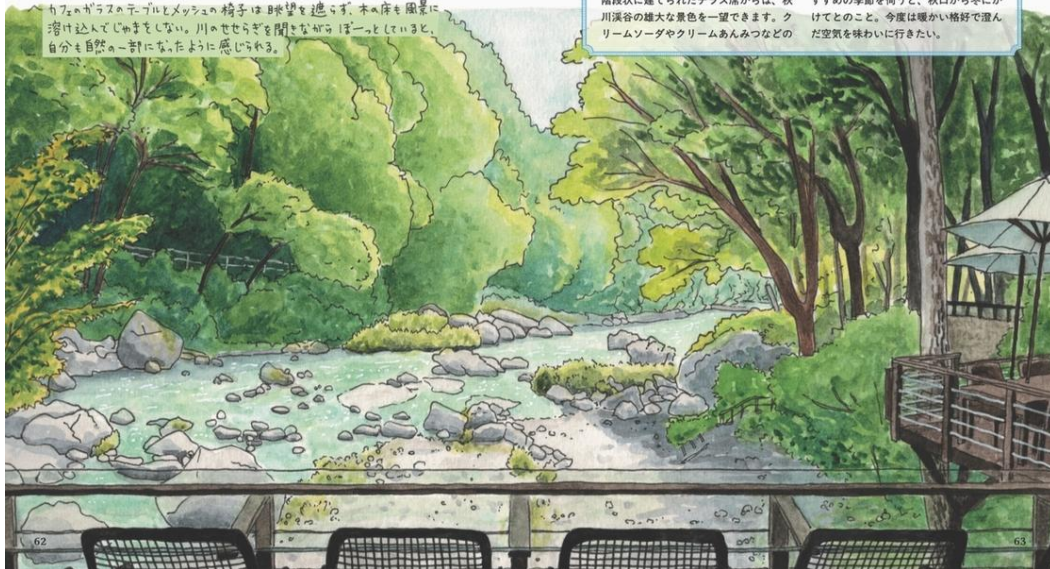
大正時代の町屋型の建物。望(はり)を表に出し軒を長く張り出す出桁(だしげた)造りの構造をしている。補修・修繕を惜みながら当時に近い望を保っている。

### ◎Chapter3 眺めに癒やされるカフェ

野外テラス 水の音 (武蔵五日市) / CONNEL COFFEE (青山一丁目) / 築地本願寺カフェ Tsumugi (築地) / CASICA TABLE (新木場) / CAFE MEURSAULT (浅草)

# 野外テラス水の音

秋川が流れる岩懸崖を眼下に望む。桜や山吹、山藤などの木々はすべて植林ではなく自生しているもの。澄んだ川には魚が泳ぎ、釣りをする人もいる。カヤバがラスカテブルとメッシュの椅子は、眺望を遮らず、木陰を風量に受け込んで心地よさをしめる。川のせせらぎを聞きながらほっとしていると、自分も自然の一部にならうと感じられる。



## 渓谷の絶景を望むテラスで味わう甘味カフェ

東京駅からJRを乗り継いで1時間30分ほどの武蔵五日市駅。さらにバスで揺られること7分で、日本料理を提供する黒茶屋に到着します。同じ敷地内にあるカフェが野外テラス水の音。渓谷の斜面に階段状に建てられたテラス席からは、秋川渓谷の雄大な景色を一望できます。クリームソーダやクリームあんみつなどの甘味が人気メニュー。豊かな自然に囲まれていただくことで、より一層心までその味がしみわたります。春の若葉、夏の深い緑、秋の紅葉と、どの季節でも楽しめます。黒茶屋総支配人の宗島さんにおすすめの季節を伺うと、秋口から冬にかけてのこと。今度は暖かい格好で澄んだ空気を味わいに行きたい。

### ◎Chapter4 美しい名建築カフェ

カフェ八角塔 (三田) / アンリ・シャルパンティエ 銀座メゾン (銀座) / 和國商店 (東村山) / つるや (都立家政) / Café 1894 (二重橋前)

# カフェ八角塔



天井が高く開放的な店内。淡い緑のドレープや赤いバロアの椅子が上品で優雅な雰囲気を引き立てる。八角形の模様のお井やランゲリ了。寄木(よせ)張りの床は、1982年に「展示室」となった当時のもの。

## 福澤諭吉ゆかりのカフェで優雅なティータイムを

慶應義塾大学三田キャンパスにある、国の重要文化財に指定されている図書館旧館。カフェ八角塔はその1階に2021年にオープンしました。現在カフェがある部屋は、1982年に全面的に改装され、「展示室」として使用されていた部屋で、当時のレトロで高級な雰囲気はそのままだに、「ネオクラシック(新古典主義)」をコンセプトに造られています。八角形をモチーフにした装飾や、老舗家具メーカーの家具を使用したり、老舗紅茶専門店のお茶を使った紅茶や有名喫茶店のオリジナルブレンドの珈琲を提供するなど、随所にこだわりが感じられ、贅沢な時間を過ごすことができます。大学の創設者である福澤諭吉にちなんだメニューや、貸し出しカード風のメニュー表など図書館旧館ならではの演出も楽しめるお店です。

### ハヌレ

カヌレは外はカリッ中はふわふわ。京都にあるコーヒーカヌレの専門店 here 特製の八角塔オリジナルのもの。

季節ごとにトッピングが変わる。その日の組み合わせが素晴らしく、今日は温かくて甘いカヌレに冷たい塩あじのソーダ、甘いクリーム、甘酸っぱいシロップがよかったです。



## ◎Chapter5 本と過ごすブックカフェ

BUNDAN (駒場東大前) / 胡桃堂喫茶店 (国分寺) / 写真集食堂めぐたま (恵比寿) / 本と珈琲 梟書茶房 (池袋) / 眞踏珈琲店 (神保町)

# BUNDAN

壁一面の本棚。近代文学のほかにマンガや古い雑誌などもある。本は家で自由に読むことができる。



## 文豪ゆかりのメニューが味わえる駒場の珈琲処

都心でありながら、都会の喧騒から離れた緑豊かな駒場公園。ブックカフェ BUNDAN はその駒場公園内の日本近代文学館の中にあります。特徴は、なんといっても文豪や文学作品にちなんで作られたメニュー。それぞれのメニューにエピソードや作品の引用文が書き添えられており、メニューブックをじっくり読むだけでも楽しめます。インテリアはレトロ調で、金属製の椅子やソファ、木製のベンチなど、不ぞろいなところがスタイリッシュ。音楽はゆったりとしたBGMでくつろげます。近所の方から文学館に来た方、旅行で訪れた海外の方などさまざまなお客さんがくつろいでいて、私が働いたときには一人で仕事をしているおしゃれな男性客がいました。リラクゼーション空間で仕事もはかどりそうです。



店内の照明は暗めだが、本棚窓から入る自然光でほんのり明るく居心地がいい。季節や天気によって雰囲気が変わるのもおもしろい。

## ◎Chapter6 昭和レトロなカフェ

ラドリオ (神保町) / Cafe 香咲 (外苑前) / トリコロール本店 (銀座) / 新宿らんぶる (新宿) / さぼうる (神保町)

# ラドリオ



ラドリオはスペイン語でリンゴの意。  
4の音のなりリンゴ造りの建物。

## ウイナーコーヒー

ラドリオが栄誉とされる。  
創業間もないころから提供され、今でも一番飲まれる定番メニュー。当時の本家さんがウイナー飲んだおみやげの語をもとに誕生した。



128

## 昭和の文豪も愛した神保町の老舗カフェ

1949年創業の、神保町に現存する中で一番古い喫茶店。戦後間もない何もなかった時代を思わせる。木くずを固めた壁などが残ります。長い歴史の中で、あるときは文学や芸術関係のお客さんの交流の場となり、またあるときは編集者の打ち合わせの場となり、今では若いお客さんも増えているそう。何った日も開店してあつという間に満席になりました。夕方

からはバーとなり、お酒も提供されます。私はもともとバーの時間帯に通っていて、神保町が通勤の乗り換え駅だったところに、仕事帰りにふらっと寄って一杯飲んで帰っていた思い出のあるお店。やや暗い照明の下、レトロな調度品に囲まれて、時間の流れが少しくつりになるのを感じながら、仕事で張りつめた心と体をほぐしていたのです。

## ラドリオ特製コーヒーゼリー

プディング入りのクリームがおいしい。  
コーヒーの苦みとよく合う。



## 抹茶とリンゴのパウンドケーキ

昔々おばあちゃんが作っていた自家製ケーキ。



129

## ■著者プロフィール

### れいん

イラストレーター。東京生まれ、長野育ち。大学時代より東京在住。コロナ禍よりおうちごはんの記録をイラストで描き、Instagramに投稿を始める。趣味のカフェめぐりや旅行、陸上競技観戦など、鋭い観察眼で描かれる緻密でおいしそうなおイラストが人気を集め、システムエンジニアとして勤めた会社を退職してイラストレーターとして自立することを目指す。「イラストレーション青山塾」26-27期を修了。本書が初の著書となる。

Instagram @rainandcolors

note <https://note.com/rainandcolors>

## ■書誌情報

れいん 著

定価 1,870 円（本体 1,700 円＋税 10%）

仕様：A5 判／160 ページ

ISBN：978-4-635-24133-5

商品情報ページ：<https://www.yamakei.co.jp/products/2826241330.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：若名

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<https://www.yamakei.co.jp/>